

## コロナ対策

# ワクチン接種状況と経済対策は 必要な手を打っていききたい



みやじま 葉子 議員

**問** ワクチン接種が進んでいるが、65歳以上と未滿に分けて現在の状況と今後の方向を伺う。

**答** 佐田健康福祉課長  
65歳以上の接種状況は8月30日現在で全体の87%。8月から開始している12歳から64歳までの接種率は58%で、11月中旬までには終了したい。

**問** 長引くコロナ禍で経済的に打撃が大きく、事業者や従業員の暮らしを直撃している。手を差し伸べる対策が必要だが、どうか。

**答** 門田産業推進室長  
長引くコロナ禍で事業者へアンケートを実施した。それらも踏まえながら様々な方面に支援をしていくため、今議会に経済対策5事業の予算約5千万円を計上した。



64歳以下の方のワクチン接種状況(ふるさと総合センター)

**問** 新学期がはじまった。デルタ株は子どもたちへの感染力も高いと聞くが、大人から子どもへの感染が主で、親や地域の大人たちが感染しないように気をつけることが子どもたちを守る。教職員へのワクチン接種はどうか。

**答** 畦地教育長  
幸い町内の児童生徒は今まで1人の感染者も出していない。  
教職員は92・3%のワクチン接種率で、ほとんどの方は終わっている。

## 福祉政策

### 補聴器助成の実施は 財政的に困難



マスクをしての授業風景(佐賀小学校)

**問** 高齢になると難聴者も増えてくるが、補聴器は高額で購入も大変だ。国の「オレンジプラン」で認知症発症の危険因子のひとつに難聴をあげている。今、全国的には補聴器助成を行う自治体が増え続けているが、町でも福祉政策として補助ができないか。

**答** 佐田健康福祉課長  
高齢になると多くの方は、眼鏡や杖、補聴器などの補助具が必要となってくる。

しかし、小さな町村については財政面の圧迫が大きく、町の助成制度の導入は困難と考える。

【その他の質問】

・土砂・豪雨対策について